

## 30 ツキイゲ (イネ科ツキイゲ属)

指定 昭和 45 年 11 月 16 日 町指定天然記念物(植物)

所在地 栗生西宮原

管理者 屋久島町

熱帯、亜熱帯の砂浜に群生する硬くて大きいイネ科の多年草。茎は地をはい、節々から根を下ろす。稈<sup>わら</sup>は基部が分枝して高さは 35～50 ㍍、葉は稈上に互生し、長さ 6～20 ㍍、幅 2～3 ミリ、針状で鋭く尖る。肉厚で下面は丸みを帯び、上面には溝がある。雌雄異株で、雄花序は長さ 5～8 ㍍、雄小穂は上半に互生し長さ 10～12 ミリ、雌小穂は各基部に長さ 10～20 ㍍のトゲを放射状につけ、熟すと落ちて風によって転がり、種子を散布する。花期 7～8 月。果期 8 月。

日本では、屋久島・種子島・宝島と奄美群島以南に分布する。屋久島では栗生浜にわずかに自生するが、砂浜の崩壊により存続が危い。